第１回うきは市議会一般質問通告書

令和５年３月６日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
1	5	坂明 公議 組員	**１．うきは市のごみ処理施設について** 令和２年からうきは市のごみ処理施設の検討について、市長（執行部）と幾度となく勉強会を実施してきたが、具体的な構想が見えてこない状況であり、以下のことについて伺う。 （１）タイムリミットである令和１０年３月３１日を考えると、早急に次期ごみ処理施設の在り方について具体的方針を決める必要があると思われるが、市長の考えを伺う。 （２）ごみ処理施設にあっては、うきは市の大規模事業であるため、現在の市民生活課生活環境係での兼務で可能なのか。次期ごみ処理施設事業に特化した対策室を設け対応していく必要があると思われるがいかがか。	市長
			２．消防団について 昨年９月に一般質問した「消防団」について再度伺う。 （１）定員数割れしている消防団の人員確保の取り組みをどう進めていくのか。 （２）うきは市の安全を守る消防団員の負担軽減と時代に即した消防団運営に向けた改善は、どのような形で図られているのか。また、消防団の抱える課題解決のため全団員へのアンケート調査を実施することで実態を可視化し、より良い消防団組織作りを進めていくべきだと思われるがいかがか。	市長

第１回うきは市議会一般質問通告書

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
２	７	竹永茂美議員	**１．法律や条例、規則が守られるまちづくりについて** （１）２０２２年１１月と１２月の市職員と教職員の月別、小・中学校別超過勤務の実態（４５時間以上、８０時間以上、１００時間以上の人数）と原因、効果ある縮減策について伺う。 （２）教職員の持ち帰り仕事時間と昼休みの実態把握に取り組まない理由について伺う。また労働基準法、文部科学省通知（令和４年１月２８日、令和５年２月３日等）、うきは市立小中学校管理規則第２９条（業務量の管理）に照らし、改善点を伺う。 （３）市職員と教職員の超過勤務削減策について伺う。また、SDGｓ目標１０ターゲット３（差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、並びに適切な関連法規等）との整合性について伺う。 **２．若者やお年寄りが住みやすいまちづくりについて** （１）０歳児から就学前の保育料、副食費、園児服等の保護者負担額とうきは市の取り組みの成果と課題について伺う。 （２）うきは市の教育諸団体（福岡県教職員組合浮羽三井支部等）からの２０２３年度教育予算要求への対応と地方教育行政法第２９条（教育委員会の意見聴取）ができているのか伺う。 （３）高校生、専門学校生、大学生に対するうきは市の支援策（通学費補助、学校行事費補助、奨学金、奨学金返済補助等）と課題について伺う。 （４）会計年度任用職員の実態（年代別、性別、任用期間別、諸権利、相談窓口等）と制度導入の成果、課題について伺う。	市長 教育長 市長 教育長

第１回うきは市議会一般質問通告書

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
３	８	岩淵和明議員	**１．新型コロナウイルス感染症について** 政府は１月２７日新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを５月連休明けから「２類相当」から「５類」に引き下げると決めた。移行に伴い、以下の点について伺う。 （１）うきは市の感染状況を把握できるよう県又は国に求め、迅速な対策が図れるよう体制の構築を求める。 （２）高齢者施設・障がい者施設での従事者及び入所者について、感染防止用品・コロナ感染検査の実施等、支援継続を求める。 （３）高齢者施設・障がい者施設での施設内隔離を見直し、施設利用者を施設外の医療機関に移動させるため医療機関との連携を強化支援するよう求めるが、所見を伺う。 （４）幼稚園・保育園・学童保育所の従事者への感染防止の衛生用品・コロナ感染検査等、継続支援を求める。 **２．マイナンバーカードについて** （１）マイナンバーカードの保険証一体化が進められ、保健医療機関・保険薬局等にオンライン資格確認導入を令和５年４月から原則義務付けるとしている。うきは市内医療機関・薬局等の顔認証付きカードリーダー設置状況について説明を求める。 （２）政府は、令和４年６月７日閣議決定以降、省令にて導入に係る補助事業を強引に進めている。導入普及に際し診療報酬加算をしているが、全体の医療費負担への影響について説明を求める。 （３）マイナンバー法（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律）の第１７条で、「市町村長は住民の申請にもとづきカードを交付する」と任意取得の原則を定めている。国は、令和６年秋に保険証を廃止するとしており、うきは市国保等保険者として、紙の保険証を任意の選択により継続を求めるが、うきは市の方針を伺う。	市長 市長

第１回うきは市議会一般質問通告書

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
4	2	髙木亜希子議員	**１．市立中学校の指導のあり方と、今後の課題について** （１）部活動について、地域移行をすすめるにあたり、その意義と課題をまず整理する必要があると考えるが、どのように現状認識・課題把握をしているか伺う。また今後、必要とされる事業の立案、計画等に向け、どのタイミングで行い、どのような構成員にするのか、といった課題抽出等が具体的になされているのか伺う。 （２）校則の見直しについては従前より「最終的には校長の権限ではある」と回答されているが、様々な見直し方法が可能だと認識している。生徒指導提要も改定されている中、提示されている方法に取り組むことも必要だと考える。改定後、どのように認識し、検討をされているのか伺う。 （３）市内中学校において、ネット上の生徒同士のトラブルが発生していると聞き及んでいる。外部講師によるメディアリテラシー・ネットリテラシーの授業などをさらに丁寧に実施することが可能か、あるいは検討しているか伺う。 **２．「子育て世代が住み続けようと思うまちづくり」について** （１）かわせみホールについて、都市型公園、そして併せて児童館としての機能を中心とし、規模を縮小した多目的施設への建て替えを検討すべきと考えるが、見解を伺う。	市長 教育長 市長

第１回うきは市議会一般質問通告書

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
５	１３	野鶴修議員	**１．少子化、人口減少防止対策について** （１）うきは市の少子化、人口減少防止対策として、最も重要な課題は何か。市長が最も重要と思える課題について、所見を伺う。 **２．子ども医療費の無料化について** （１）子ども医療費については、うきは市も就学前の子どもは医療費が無料化されたが、これを小・中学生まで延長できないか。できれば、１８歳までの高校生に対しても、何らかの助成を検討してもらいたいが、市長の所見を伺う。 **３．都市計画と農業振興地域整備計画の策定について** （１）都市計画とそれに関連する農業地域振興整備計画等の進捗状況について伺う。 （２）都市計画の策定について、いつごろまでに具体案を作成するのか。スケジュール等についても伺いたい。	市長 市長 市長

第１回うきは市議会一般質問通告書

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
6	3	高松幸茂議員	**１．協働のまちづくりについて** 「うきは市協働のまちづくり基本条例」について、これまでの定例会において一般質問を行ってきたが、関連して質問を行う。 （１）平成２８年４月の「うきは市協働のまちづくり推進指針」では、第４章「推進の具体的な方策」の中に、「協働のまちづくりの領域と形態」についての説明があり、行政の活動領域と市民の活動領域の「…重なりあう領域が…協働しやすい領域」とされている。 合併後の施設整備のうち大型のものとして、体育館、図書館、るり色ふるさと館があるが、それぞれの施設整備における行政と市民の関わりの度合いを、同指針のＡ～Ｅのどの形態だったと考えるか。 （２）現在、うきは市が抱えている課題のうち、浮羽東高校跡地の活用と、うきは市民ホールの今後について、検討の進捗状況を伺う。 （３）（２）で取り上げた課題への市民の意見反映を、どのような段階でどのように行うかについて、市長、教育長それぞれの考えを伺う。 （４）大刀洗町では、行政施策に住民の意見を反映するために、毎年テーマを決めて無作為抽出で募集を行い、応募した一定以上の年齢の住民で「住民協議会」を構成して、対話を通じてまちづくりの方向性を答申している。 うきは市でもこれに取り組めば、より良い協働のまちづくりにつながり、若者の政治参加にも貢献できると考えるが、市長の見解を伺う。	市長 教育長

第１回うきは市議会一般質問通告書

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
7	1	権藤英樹議員	**１．介護人材不足への早急な対策について** （１）高齢者福祉事業や障がい者福祉事業を担う介護人材が全国的にも不足している中、本市においても深刻な人材不足にあることが社協や福祉事業者からの聞き取りで明らかとなった。本市における介護人材不足の現状と現状に対する市長の見解を伺う。 （２）待遇面等の差で都市圏への介護人材の流出を余儀なくされる中、外国人人材を活かすことについて国も段階的に規制を緩和し、従前に比べて招き入れやすくなっている。特定技能「介護」取得者や、介護以外の技能実習や特定活動の在留資格者を本市で募集し、介護施設等での就労や介護福祉士資格取得等の経済的・生活的支援をおこないながら、将来本市の事業所等で就業できる人材を地域おこし協力隊員のように本市が主体となって育成してみてはどうか。 **２．視覚障がい者の生活支援の拡充について** （１）前項の介護人材不足の影響で、視覚障がい者の生活支援において居宅介護や同行援護等の障がい福祉サービスを必要な時間受けることが出来ない現状があると聞く。実態と対策について市長の見解を伺う。 （２）日常生活に必要不可欠な代筆や代読は居宅介護の家事援助の一環としておこなわれているが、認定区分が低い障がい者は居宅介護が利用できない。また、居宅介護利用者も有資格者である訪問介護員来訪時には他の生活に必要な支援を優先的に求めている。短期間の講習等を受講すれば市民ボランティア等でも従事できる「代筆・代読支援」を既存の障がい福祉サービスと別に設けてはどうか。 （３）AIアシスタント機能を持つ対話型音声操作スピーカー（スマートスピーカー）や、眼鏡等に取り付けた目線のカメラで読み取った文字をイヤホンで再生するAI視覚支援デバイスなど、先端技術	市長 市長

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
			を使った視覚障がい者の生活支援に資する機器類の購入に関して、本市独自の補助制度を設けることはできないか。	
８	４	樋口隆三議員	**１．認知症対策について** 認知症対策として、２０１９年６月「認知症施策推進大綱」が取りまとめられ、これを受け各自治体にも努力義務が規定されたほか、市町村介護保険事業計画の記載事項として、認知症施策の総合的な推進に関する事項が追加された。 （１）認知症施策対策としての取り組み状況についての見解を伺う。 （２）認知症対策として、何をどの程度まで取り組む予定なのか伺う。 （３）課題となる「予防」の面から「通いの場」における活動の推進計画があれば伺う。 **２．不登校対策について** ２０２１年度に全国の小中学校で不登校の児童生徒は、２４万４９４０人で、２０２０年度より約４万８千人増え（２４.９％増）過去最多だった。 （１）うきは市内小中学校での不登校の現状を伺う。 （２）現状をどう分析し、認識しているか伺う。 （３）不登校対策は、どのようにしているか、また、特にどのような対策に力を入れているか伺う。 （４）タブレットを活用した生徒相談体制の構築を提案したいが、見解を伺う。 **３．消防団員の加入対策について** 本件は、昨年１２月議会の一般質問で時間切れにより説明が途中だったので、再度、質問として伺う。 （１）消防団員の加入対策としての処遇改善の内容について伺う。	市長 市長 教育長 市長